

様式第 10

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
横瀬町	横瀬町	令和6年～令和7年	令和6年～令和7年

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標	現 状 (令和 年度)	目 標 (令和 年度) A	実 績 (令和 年度) B	実績 / 目標
排出量	事業系 総排出量	t	t	%
	1 事業所当たりの排出量	t	t	%
	生活系 総排出量	t	t	%
	1 事業所当たりの排出量	kg/人	kg/人	%
	合 計 事業系生活系総排出量合計	t	t	%
再生利用量	直接資源化量	t	t	%
	総資源化量	t	t	%
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	t	t	%

※目標未達成の指標のみを記載。

(生活排水処理)

指 標	現 状 (令和5年度)	目 標 (令和7年度) A	実 績 (令和7年度) B	実績 / 目標
総人口				—
公共下水道	汚水衛生処理人口	2,766	2,840	76.4%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	36.0%	38.2%	14.8%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口			%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	3,422	3,204	89.3%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	44.6%	43.1%	—
未処理人口	汚水衛生未処理人口			%

分子がマイナスになるため

※目標未達成の指標のみを記載。

2 目標が達成できなかった要因

○公共下水道

管路整備済み区域であっても、経済的理由及び高齢世帯であり後継者が無く今後空き家になる可能性等の理由により下水道への接続が進まず未達成になった原因と考えられる。

○合併処理浄化槽等

公共下水道と同じく、経済的理由及び高齢世帯であり後継者が無く今後空き家になる可能性等の理由により転換が進まず未達成になった原因と考えられる。

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 令和 12 年度まで

生活排水処理全体

ホームページや広報や町のイベント等で定期的に事業の周知を行う

未処理世帯に対して積極的に事業愛用を PR していく

経済的な理由が処理人口が増えない要因として考えられるため補助金等の活用法の見直しの実施

リフォーム担当や空き家担当部署と連携し、汚水衛生処理率を向上させることができないか検討する

目標が達成されていた項目について今後も向上していけるよう事業周知を徹底する

(都道府県知事の所見)

埼玉県生活排水処理施設整備構想の実現に向け、上記方策により合併処理浄化槽への転換を促進し、未処理人口の解消をさらに促進していただきたい。